



成果指標				
成果指標	成年後見制度により市長申立を行った件数			
指標設定の考え方	申立内容及び経緯等の把握及び申立件数			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目 標	2件	2件	2件	0
実 績	1件	2件	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	今年度の市長申立事案は2件あったが、手続費用については家庭裁判所の審判により本人負担分を請求し納付していただいた。今後さらに家族や親族の援助が得られない高齢者が増加すると思われるため、事業の継続は必要である。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	判断能力が十分でない高齢者の生活の自立援助を行うために、同事業は必要であり今後も継続する必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	